



# 新年のご挨拶

新潟県税理士協同組合  
理事長 三村 宰

組合員・賛助会員(以下、組合員等)並びに提携企業の幹部社員はじめ職員の皆様、新年あけましておめでとうございます。また、皆様には平素から協同組合事業に対し格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は1年延期された「東京2020オリンピック」が開催されました。無観客での開催という特殊な状況ではございましたが、選手たちはお茶の間に感動を届けてくれました。延期期間の1年間は選手たちにとっては非常に厳しい期間だったと思います。前回オリンピック以降、ライバルを思い描き4年間の厳しいトレーニングに身を置き、さらに1年の延期期間を費やす。その努力を思いながら競技の一つ一つを思い返すと感動がまた蘇ってまいります。

また、新型コロナウイルスの蔓延はオリンピックだけではなく我々の生活に大きな変革を求めました。このウイルスは人と人との距離を分断していくものだと感じていました。しかし、現在我々はWeb会議やメール、チャットなど電子的方法を用いた、インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー(ICT)を活用する術を身につけています。分散出社や在宅ワークなどの仕組みを活用することにより、より自由度の高い職場環境を構築されているという関与先もでてまいりました。行政手続きのオンライン化の推進やテレワークの普及に伴い、税理士を取り巻く環境は大きな変革を迎えております。インボイス制度や改正電子帳簿保存法の導入により税理士業務の電子化・オンライン化・クラウド化はさらに進むことと予想されます。研修のサテライト化、Web化などからではありますが、当税協も時代の要請に従って組合員等のために変革を進めてまいります。

税協は、相互扶助の精神に基づき協同して事業を行うことにより、組合員等の福利厚生と経済的地位の向上を目的として様々な事業を展開しております。旧年中も「税務インデックスの配付」を行い、「希望書籍の無償配付」は金額を引き続き2万円として実施しました。研修会については岩下忠吾先生、若山寿裕先生、金井恵美子先生をお迎えして実施いたしました。内2回は本会場を長岡市、サ

テライト会場を新潟市と上越市に設けて行いました。また、9月には96名もの多くの参加者を迎えてチャリティゴルフ大会を開催いたしました。執筆時現在ですが、組合員の皆様にCO<sub>2</sub>濃度假定器をお配りすることが決定いたしました。換気による感染症対策に資するのはもちろんですが、職場のCO<sub>2</sub>濃度が高まると集中力の低下や頭痛につながるということです。快適な職場空間を維持するためにご利用いただけるものと考えております。

県連単位では県連が行う研修事業・福利厚生事業に協賛し共催費を拠出しております。また、県内13地域では地域活動費・地域運営費・地域研修費を拠出しております。この活動の原資の中心となっているのが全国税理士共栄会(以下、全税共)事業(全税共提携生命保険会社)と総合事業保障プラン事業(大同生命)です。

毎年9月から11月は全税共全国統一キャンペーンの期間となります。この期間には各地域を訪問し業務推進会議を行います。昨年は8地域訪問させていただきました。それぞれの地域では、皆様に非常に温かい雰囲気でも迎えていただきました。まことに感謝申し上げます。訪問させていただいた各地域の地域長はじめ支部長、組合員等の皆様は協同組合事業に深いご理解と大変なご協力をいただいていることを強く感じる事ができました。「情けは人の為ならず」という言葉があります。人に対して情けを掛けておけば、巡り巡って自分に良い報いが返ってくるという意味の言葉です。まさに税協事業の仕組みに沿う言葉のように感じます。皆様の事務所に提携各企業の方々が訪問されたときには、ぜひ温かく迎えていただければと思います。

結びにあたり、2022年の干支は壬寅(みずのえとら)です。「壬は妊に通じ、陽気を下に妊(はら)む」、「寅は蟻(ミミズ)に通じ、春の草木が生ずる」という意味があるそうです。厳しい冬が終わり、草木が芽吹き始めた状態を表すそうです。今年の干支のように、皆様のますますのご健勝と事業のご繁栄、協同組合事業の新たな芽吹きが大きく発展することを祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。